



暖かな春を迎えられるように

副校長 松井 栄人

3 学期が始まり、あっという間に 3 週間が過ぎました。1 月 27 日（土）には学習発表会が開催され、保護者の方、お客様を含め、500 名近い方の参観がありました。保護者の皆様も、児童・生徒の日頃の取り組みを御覧いただくことができたのではないのでしょうか。中学部 2 年生は作業製品の販売に取り組み、今まで中学部の作業学習で作りに上げてきた製品の販売に、生徒一人一人が目的意識、役割意識をもって販売活動に取り組み、皆様に喜んでいただくことができました。感謝されること、自分の役割の大切さを感じることは、生徒一人一人の今後の自信につながったことと思います。学習発表会の実施に際しましては保護者の皆様の御理解・御協力に感謝いたしますとともに、PTA 役員の皆様には広報誌用の写真撮影や受付のお手伝いなど、多くの御協力をいただき本当にありがとうございました。これからも、子供たちの輝くような笑顔を絶やさぬよう、日々の指導に取り組むとともに、御来校された保護者の皆様やお客様からの貴重な御意見を今後の児童・生徒の指導に生かしてまいります。

さて、厳しい寒さもいよいよ本格的になり、1 月の後半からは、全国的なインフルエンザの流行について報道がなされています。何事に取り組むにも、身体と気持ちが元気でなくてはなりません。日頃の教科の学習とともに、一人一人の児童・生徒が衛生面や健康面を意識し、元気に毎日を送ることができるようになることの必要性を強く感じています。2 月 3 日は「節分」です。インフルエンザウイルスも『福は内、鬼は外』と、退散させたいものです。

寒い中にも、本当に心温まる春の訪れを感じられるよう、今まで以上に児童・生徒に寄り添った暖かな指導を行うためにも、学習してきたことや多くの行事などについて、この 1 年間を振り返り、残りの 2 か月間が 1 年間の集大成とできるようこれからも一步一步、着実に歩んでまいります。

『第 2 回学習発表会 舞台発表・作品展示』

主幹教諭 満村 辰也

城東特別支援学校として 2 回目を迎えた今回の学習発表会も大いに盛り上がりました。小学部・中学部各学年の発表は、これまで日々の授業で積み重ねてきた学習の成果を、舞台発表、また作品販売という形を通して、存分に発揮できたのではないのでしょうか。生き生きと、そして自信をもって発表している子供達の姿が、とても印象的でした。

また図工・美術等の作品展示についても、多くの皆様に鑑賞していただきました。昨年度に増して、さらに工夫された作品の数々に、多くの称賛の声をいただきました。来年度以降の学習発表会も、子供達の頑張りや輝きを十分に伝えられるように、さらに充実した内容として参ります。どうぞお楽しみに！！

